

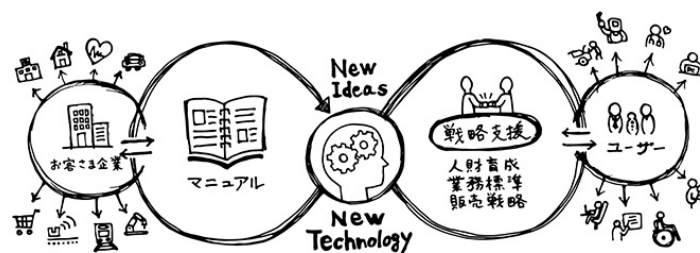
2024年9月期 通期決算・成長戦略説明

CMC GROUP



株式会社 シイエム・シイ

製品・技術情報を知り尽くし、お客さま企業に寄り添う、
「DXを影で支える黒子企業」



創業60年、
常に変化をしながら、
持続的に成長



大手お客さま企業との
長年の信頼のお付き合い



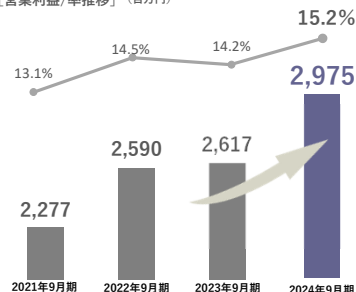
磐石の財務基盤により、
成長戦略への投資や
資本政策を機動的に実施

業績

売上/利益項目はすべて過去最高、
営業利益は4期連続で最高益更新

生産性向上の取組み、デジタル変革に
対応したサービス・商材提供により
利益構造を強化

[営業利益/率推移] (百万円)



営業利益

前期比
+13.7%

営業利益率

前期比
+1.1pt

中期経営計画の振り返り

市場の拡大と深耕、
M&A等活用・推進

- ・非モビリティ業界の裾野拡大
- ・グローバル事業拡大の準備完遂

デジタルを活用した
利益率の向上

- ・業務効率化・省人化の
取組みにより生産性を向上

株主還元強化

- ・7期連続の増配を実現

人財を育てる

- ・働き方に関する
制度/しくみの整備
- ・職場環境の整備

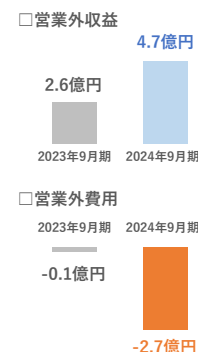
- 1 | **業績報告** (2024年9月期)
- 2 | **中期経営計画の振り返り** (2022年9月期～2024年9月期)
- 3 | **新中期経営計画** (2025年9月期～2027年9月期)
- 4 | **業績見通し** (2025年9月期)
- 5 | **参考資料**

1 | 業績報告 (2024年9月期)

売上/利益項目はすべて過去最高、 営業利益は4期連続で最高益更新

	2023年9月期	2024年9月期	前期比
売上高	18,451	19,523	+ 5.8%
売上総利益	6,858	7,275	+ 6.1%
営業利益	2,617	2,975	+ 13.7%
営業利益率	14.2%	15.2%	+ 1.1ポイント
経常利益	2,873	3,182	+ 10.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,762	2,078	+ 18.0%
EPS	132.97円	156.72円	+ 23.75円
ROE	9.7%	10.5%	+ 0.8ポイント

単位:百万円



【売上高】

前期比5.8%増の195億23百万円。

【営業利益】

前期比13.7%増の29億75百万円。

【経常利益】

為替影響等のマイナス要因があったものの、資金の効率化を進め、前期比10.7%増の31億82百万円。

【親会社株主に帰属する当期純利益】

前期比18%増の20億78百万円。

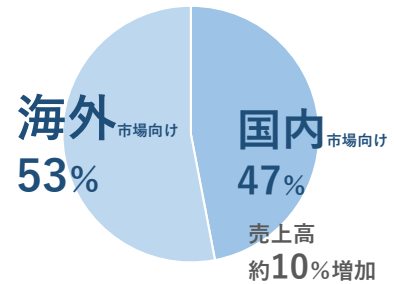
以上の結果、売上高、利益項目ともに過去最高を更新。

Manualsは、製品モデルサイクルの影響あるも、概ね計画通り Knowledgeは、デジタル変革推進活動、販売支援施策が拡大

ご参考) 仕向け先別売上高

単位:百万円

売上高	2023年9月期		2024年9月期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
Manuals	9,247	50.1%	9,106	46.6%	▲1.5%
Knowledge	9,017	48.9%	9,949	51.0%	10.3%
その他	186	1.0%	468	2.4%	151.5%



* 国内 国内市場向けの商材・サービス
* 海外 海外市場向けの商材・サービス

【Manuals】

お客さま企業の製品モデルサイクルの影響があったものの、概ね計画通りに推移。

【Knowledge】

デジタル変革推進活動の推進に加え、販売支援施策が拡大。

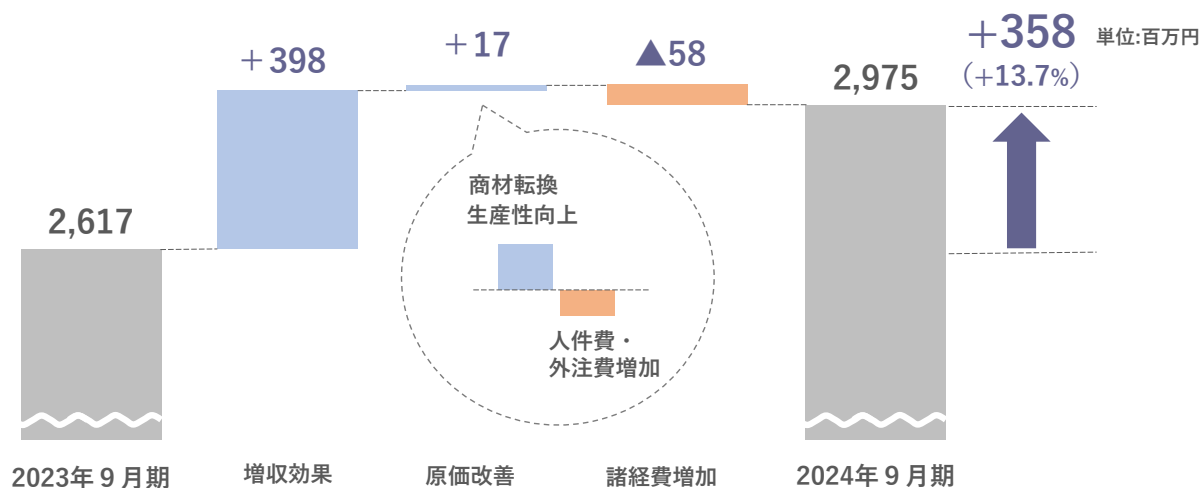
【その他】

SaaS商材のライセンス収入等が拡大。
Knowledgeと併せ、府中自動車の連結子会社化が寄与。

ご参考) 仕向け先別売上高

海外市場向けが横ばい推移した一方で、国内市場向けが前期比10%超の増加。

増収効果に加え、商材転換・生産性向上が寄与



【営業利益増減要因】

増収効果に加え、人件費や外注費等のコスト上昇があったものの、
商材やサービスへの転換、継続的な生産性向上により増収。

貸借対照表

CMC GROUP | 情報価値のサステナビリティを目指して

単位:百万円

資産の部	2023年9月末	2024年9月末	差額
流動資産	18,098	17,610	▲487
（内、現預金）	13,538	12,320	▲1,217
固定資産	6,648	8,798	+2,149
資産合計	24,746	26,408	+1,662
負債及び純資産の部	2023年9月末	2024年9月末	差額
流動負債	3,482	3,552	+69
固定負債	2,041	1,927	▲113
負債合計	5,523	5,480	▲43
株主資本	18,408	19,995	+1,587
その他	813	932	+118
純資産合計	19,222	20,928	+1,705
負債純資産合計	24,746	26,408	+1,662

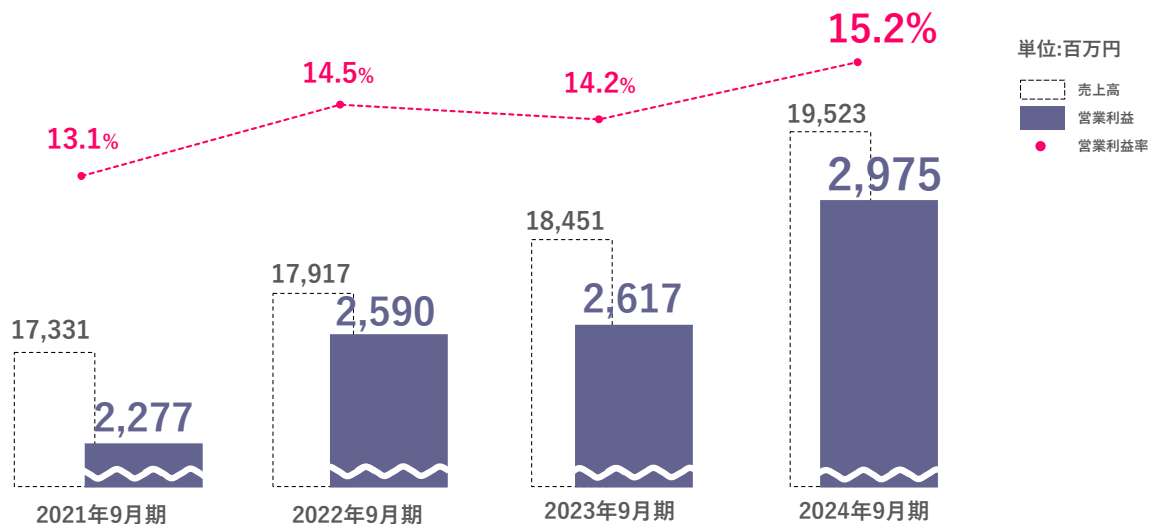
【現預金、固定資産】

現預金の減少ならびに固定資産の増加は、主に不動産の取得に伴うもの。

2 | 中期経営計画の振り返り

(2022年9月期～2024年9月期)

デジタル変革に対応したサービス・商材の展開、 継続的な生産性向上の取組みにより、利益構造を強化

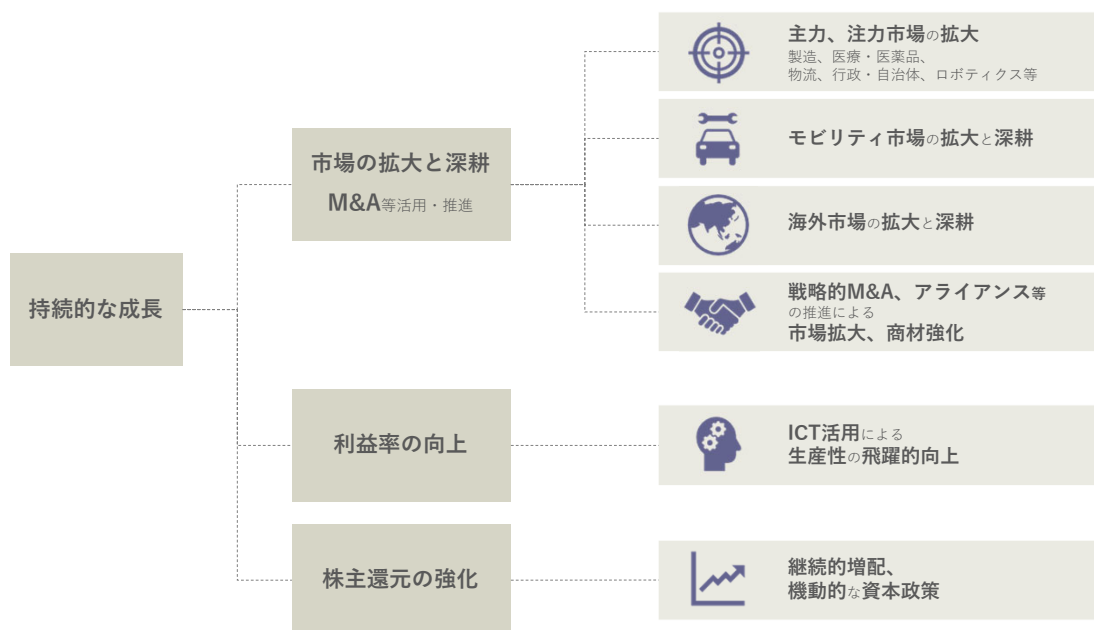


11

【中期経営計画 業績の振り返り】

中期経営計画の3か年で、利益構造が着実に変化。

「人財を育てる、データを育てる」方針のもと、お客さま企業に寄り添い、データの整流化、構造化に取り組み、データの利活用に対応する商材、サービスへの転換を進めたほか、継続的な生産性向上の結果、3年連続で最高益更新。



(中期経営計画の成長戦略ロードマップ)

成長戦略

市場の拡大と深耕、M&A等活用・推進



主力、注力市場の拡大



モビリティ市場の拡大と深耕



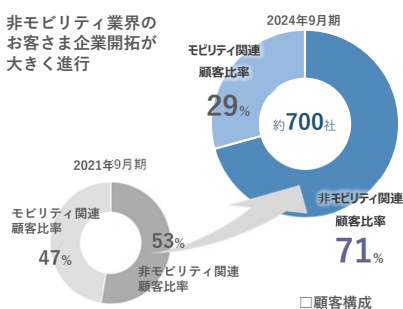
海外市場の拡大と深耕



戦略的M&A、アライアンス等の推進による
市場拡大、商材強化

お客さま企業に寄り添い 主力/注力市場に注力

非モビリティ業界の
お客さま企業開拓が
大きく進行



地域への包括的な事業展開、 グローバル事業の強化

東南アジア地域の事業拡大を加速

CMC GROUP ASIA

欧州地域の事業効率化/強固な基盤の確立

CMC GROUP EUROPE

モビリティ整備のデジタル 改革を推進する新事業開発

連結子会社化



府中自動車株式会社



販売パートナー契約

IYASAKA

(中期経営計画の振り返り① 市場の拡大と深耕、M & A等活用・推進)

成長戦略

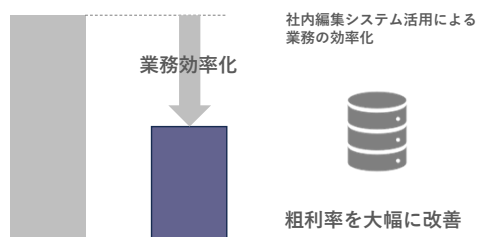
デジタルを活用した利益率の向上



ICT活用による生産性の飛躍的向上

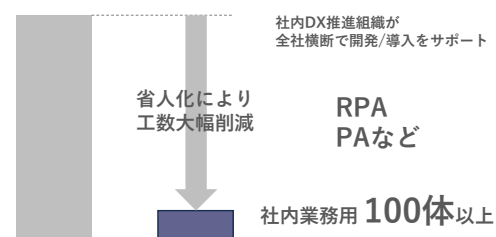
自社開発システムを活用した
持続可能な効率化を推進

Manuals領域の主要業務で生産性向上



業務プロセスのデジタル改革により、
業務の省人化を推進

社内業務用RPAを100体以上開発・導入



(中期経営計画の振り返り② デジタルを活用した利益率の向上)

成長戦略

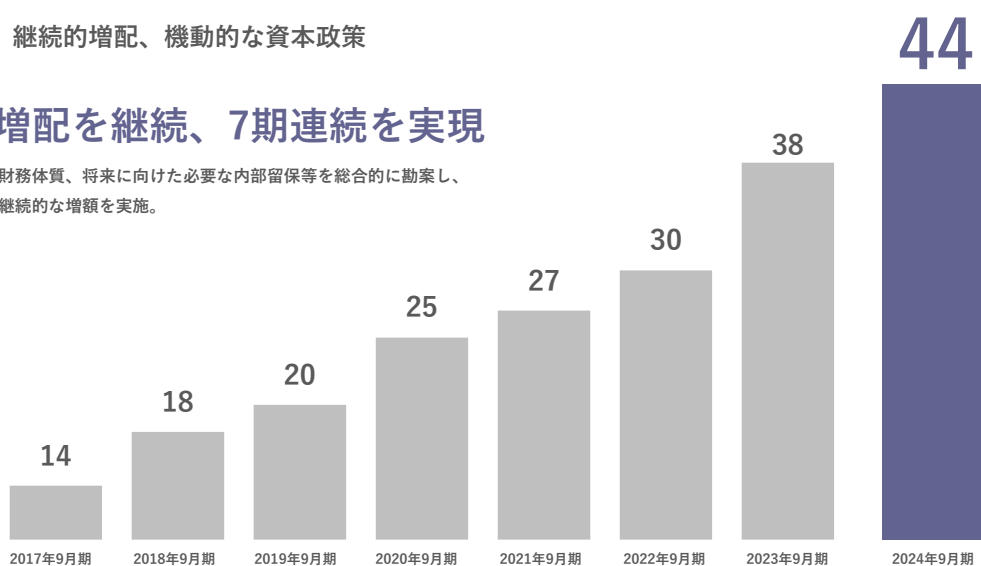
株主還元の強化



継続的増配、機動的な資本政策

連続増配を継続、7期連続を実現

業績動向、財務体質、将来に向けた必要な内部留保等を総合的に勘案し、
配当金額の継続的な増額を実施。



(中期経営計画の振り返り③ 株主還元の強化)

成長戦略

人財を育てる

ビジネスを支える人財の行動変容を促す取組みを推進

社会の変化や多様な社員の働き方に
対応した制度・しくみの整備

社員の働きやすい職場環境整備

グループ共通の行動指針の整備

制度・認定

物価上昇支援金
賃上げ



社員の健康増進



サステナブルな調達



本社ビル改修



イノベーション拠点
建替え

2025年
リニューアル
(予定)

グループ共通の行動指針の策定・浸透



CMC GROUP Way



心動かす価値創造レポート

(中期経営計画の振り返り④ 人財を育てる)

3 | 新中期経営計画 (2025年9月期～2027年9月期)

お客さま企業の黒子として 情報価値の循環を支える基盤づくりをご支援



18

【情報価値のサステナビリティ】

お客さま企業の黒子として、情報を必要とする人へ

「必要な時に」、「必要な情報を」、「最適な方法」で提供する情報価値の循環、
それを実現するための基盤づくりを推進。

関わる方々へ心動かす価値を提供する

Creative Multivalued Coordinator

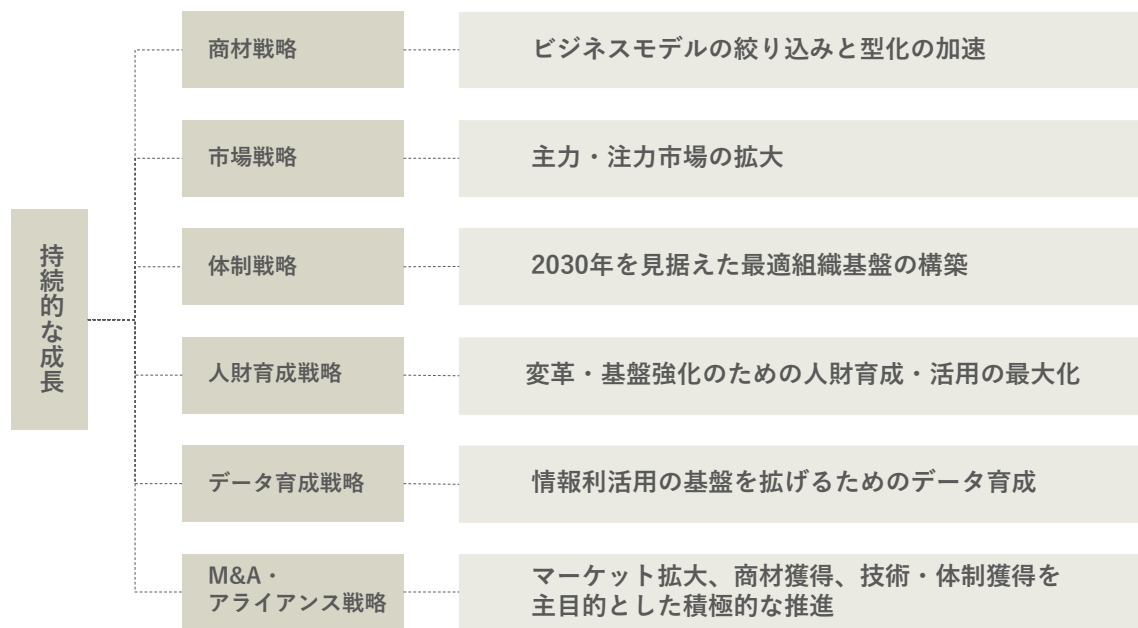
『 2030年を見据え、
人とデータの共生を支える
情報活用の基盤を拡げる 』



【新中期経営方針】

関わる方々へ心動かす価値を提供する
Creative Multivalued Coordinatorとして、

『2030年を見据え、人とデータの共生を支える情報活用の基盤を拡げる』
を、方針として掲げ、情報価値のサステナビリティを拡げる取組みを進める。



【成長戦略ロードマップ】

新中期経営計画においては、持続的な成長を見据え、
商材、市場、体制、人財育成、データ育成、M&A・アライアンス
の6つの戦略に取り組む。

成長戦略

商材戦略/市場戦略/体制戦略

商材戦略

ビジネスモデルの
絞り込みと型化の加速

- ①情報を起点とした
ビジネスモデルへの注力



- ・商品情報
- ・サービス情報
- ・業務情報

- ②社会課題や次世代技術の普及などの
時代に呼応した商材の展開

業務標準DX/整備DX/医療DX

市場戦略

主力・注力市場の拡大

- ☐主力市場 ☐注力市場

- ・モビリティ ・海外
- ・製造
- ・医療・医薬品
- ・物流
- ・行政/自治体

体制戦略

2030年を見据えた
最適組織基盤の構築

- ☐国内

各社/各部門の役割明確化による
選択と集中の推進

- ☐海外

- ①地域/拠点間連携の最大化

- ②新拠点進出の取組み具現化と実行

(新中期経営計画 商材戦略/市場戦略/体制戦略)

成長戦略

人財育成戦略/データ育成戦略/M&A・アライアンス戦略

人財育成戦略

変革・基盤強化のための
人財育成・活用の最大化

①注力育成人財

[育成テーマ]

- ・ビジネスデザイン力
- ・視座
- ・人間関係構築/交渉力

②グループ横断の

人財採用・人財活用の活性化

CMC GROUP

データ育成戦略

情報利活用の基盤を
拡げるためのデータ育成

①グループ商材にデータを貯め、
利活用を見据えたデータの体系化

②PoC(概念実証)を繰り返し、
ビジネスモデルを強化

③好事例の量産と横展開

M&A・アライアンス戦略

積極的な推進

①ビジネスシナジーの最大化

[目的]

- ・マーケット拡大
- ・商材獲得
- ・技術・体制獲得

②リードタイム短縮

(新中期経営計画 人財育成戦略/データ育成戦略/M & A・アライアンス戦略)

4 | 業績見通し（2025年9月期）

増収・増益、最高益更新を予想

単位:百万円

	2024年9月期	2025年9月期 (予想)	前期比
売上高	19,523	22,000	+12.7%
営業利益	2,975	3,600	+21.0%
営業利益率	15.2%	16.4%	+1.2 ^{ポ1}
経常利益	3,182	3,700	+16.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,078	2,400	+15.4%
EPS	156.72円	180.88円	+24.16 ^{ポ1}
ROE	10.5%	11.1%	+0.6 ^{ポ1}

24

【業績見通し】

2025年9月期は増収・増益、最高益更新を予想。

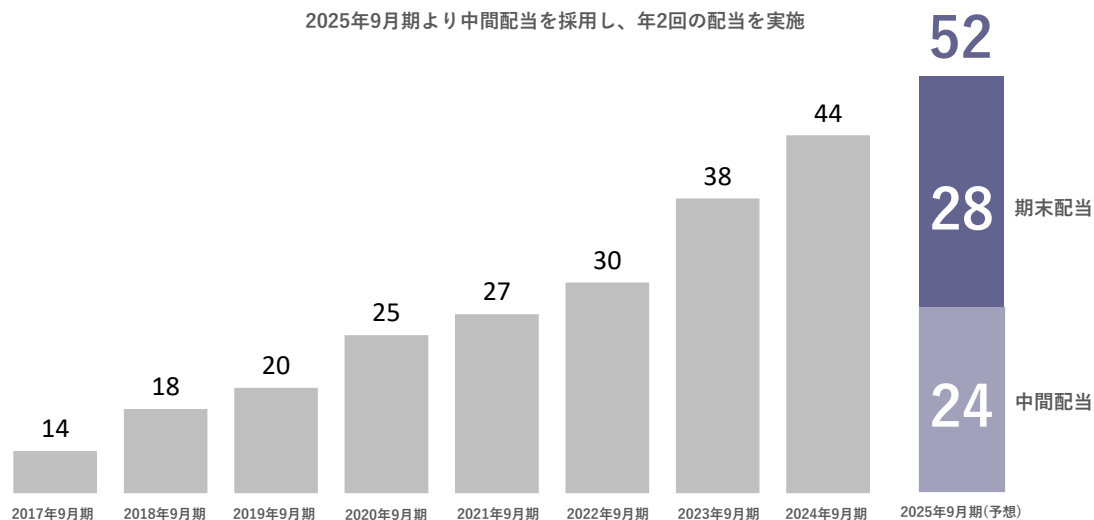
ビジネスモデル変革の成果を享受しつつ、

海外拠点の拡大や、M&Aの実施など、積極的な投資を進める。

8期連続の増配予想、中間配当を導入

配当金額の継続的な増額を実施

2025年9月期より中間配当を採用し、年2回の配当を実施



【8期連続の増配予想】

安定的に継続的な増配を目指す方針のもと、8円増額の1株当たり52円。

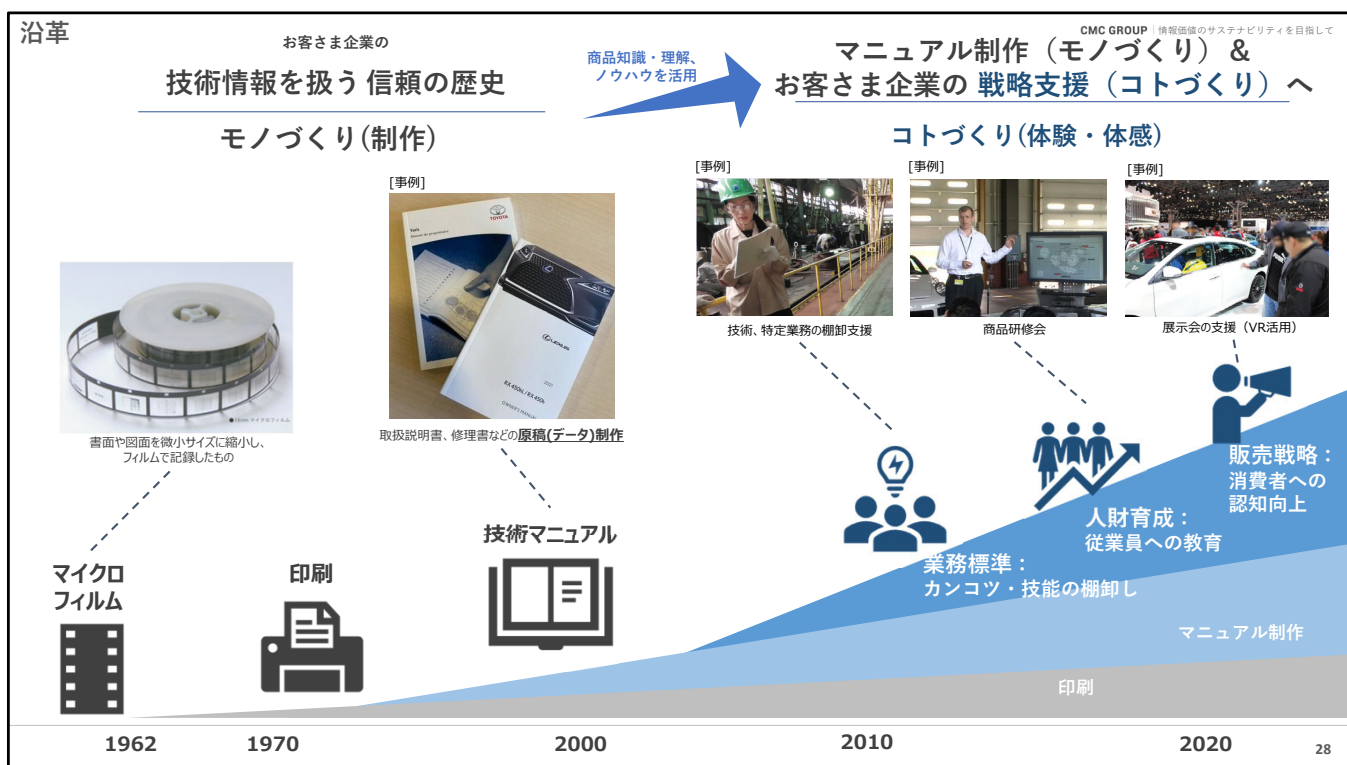
【中間配当の導入】

利益還元之机会を充実させるため、期末配当とあわせ、年2回の配当。

CMC GROUP

2025年9月期 第1四半期累計期間の決算発表は、
2025年2月12日(水)を予定しております。

5 | 参考資料



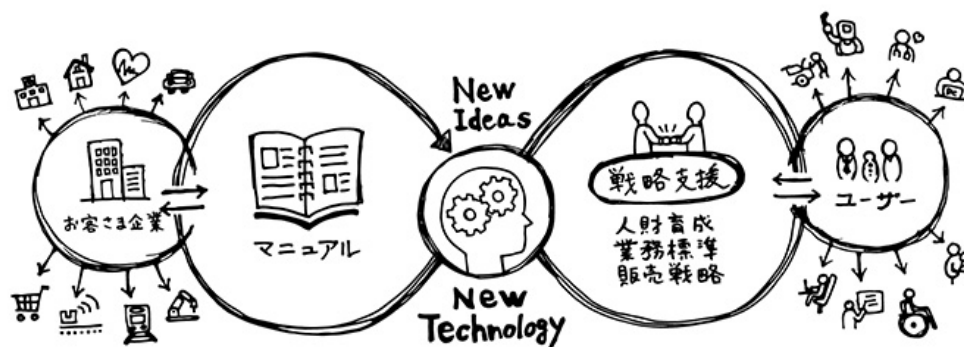
・企業（商材）の寿命は約30年。
お客さま企業の技術情報を扱い続けながら、時代の変化に対応し、商材を変化。

モノづくり：マイクロフィルムにはじまり、印刷、技術マニュアルなど
コトづくり：業務標準、人財育成、販売戦略など
業界拡大：モビリティ・製造業・サービス業

・情報を必要とする人へ
「必要な時に、最適な方法で、必要とする」情報を伝える、という
ビジネスの本質は変えず、時代に合った形にビジネスモデルを変革・成長させる。

「マニュアル制作」を通じて
お客さま企業を深く理解し、

「戦略支援」を通じて
ユーザーを深く理解する



このサイクルを回し続けることで、
お客さま企業を全面的にサポートし、行動変容に導く

【当社グループのビジネスモデル戦略】

- ・「マニュアル」とは、
技術情報・お客さま情報・製品知識・現場でのカンコツなど、
お客さまを深く理解すること。
- ・「戦略支援」とは、
「マニュアル」で培ったノウハウを活用し、人財育成・業務標準・販売戦略などを通じて、
お客さま企業を全面的にサポートすること。



時代の変化に対応し、
変わり続ける

0 個

創業時から続く
商材の数



一流企業に鍛え上げられた
品質と信頼性

約 60 年

大手自動車会社との
取引年数



仲間づくりと
グループ総力の結集

約 6 倍

グループ3社
M&A前後の
営業利益増加



圧倒的なナレッジと経験を持つ
マニュアル業界最大手

約 50 %

大手自動車会社における
技術マニュアルの
当社シェア



先端技術の
開発・活用

約 25 %

グループ全従業員
ICT人財比率



利益・配当
継続成長

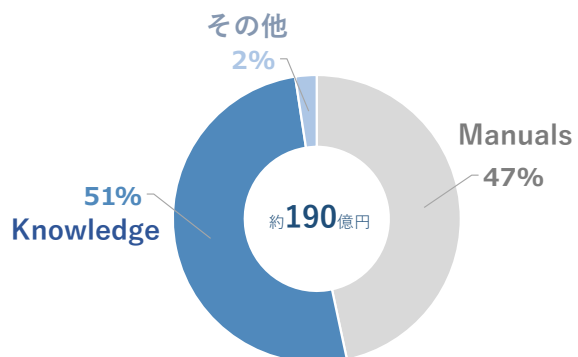
7 期連続

直近の実績で
7期連続増配

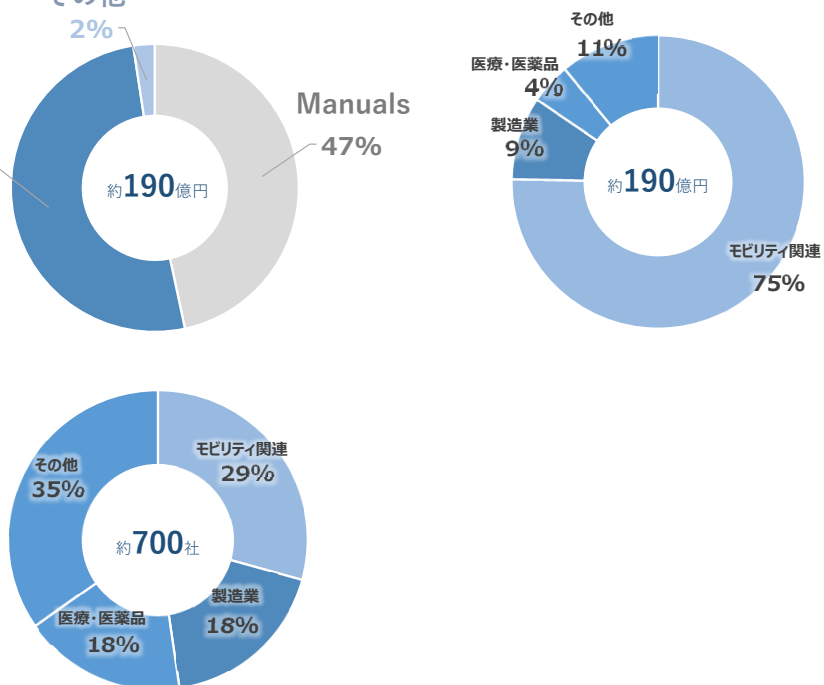
当社グループの特徴を 6 つの数値で表現。

1. 創業時から続く商材数：0個
2. 大手自動車メーカーとの取引年数：約60年
3. M&A後のグループ会社の営業利益：約6倍
4. 大手自動車メーカーにおける技術マニュアルのシェア：約50%
5. グループ全従業員のICT人財比率：約25%
6. 7期連続の増配

売上構成 |



顧客構成 |



North America

アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA, INC.

Europe

ポーランド



Maruboshi Central & Eastern
Europe Sp. zo.o.

オランダ



CMC Group Europe B.V.

フランス



CMC Group Europe B.V.

Asia

中国



広州国超森茂森信息科技有限公司
北京国超森茂森網絡科技有限公司

台湾



台湾丸星資訊科技股份有限公司

タイ



CMC GROUP ASIA CO., LTD.

シンガポール



CMC GROUP ASIA CO., LTD.

海外

8ヶ国 11拠点

PURPOSE | 存在意義 |

情報価値のサステナビリティを目指して

必要な時に、必要な情報を、最適な方法で提供することで関わる方々へ心動かす価値を届け続けよう

サステナビリティ基本方針

創業以来、時代に合わせて提供するサービスを変えてきましたが、お客さまに寄り添い、関わる方々へ心動かす価値を届けるという本質は変わりません。

人が本来持つ能力や獲得したスキルと、データの特性を組み合わせることで、仕事の進め方、日々の過ごし方が変わります。可能性を広げ、暮らしをもっと楽しくするご支援をまいります。

VISION | 描く未来

人とデータの共生で、
くらしをもっと楽しく

事業計画 ……
中期経営方針
会社方針・部門方針

· **VALUES** | 行動基軸
CMC GROUP Way

当社グループの理念体系は、ひとりひとりがビジョンを実現する姿を示しています。ビジョンの背景にある「くらし」のイラストは、私たちが実現したい未来です。心動かす価値を届け続けることで、ビジョンの実現に挑み続けます。

CMC GROUP Way

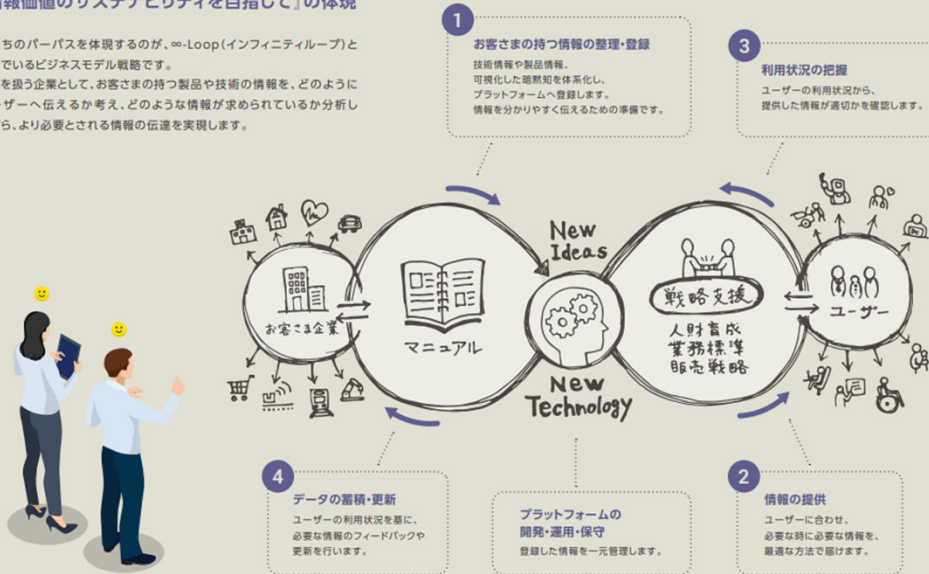
 <https://cmc.jp/about/vision/>

お客さまをはじめとした、ステークホルダーの皆さまの信頼に応えるために、全社員が取るべき行動を示しています。



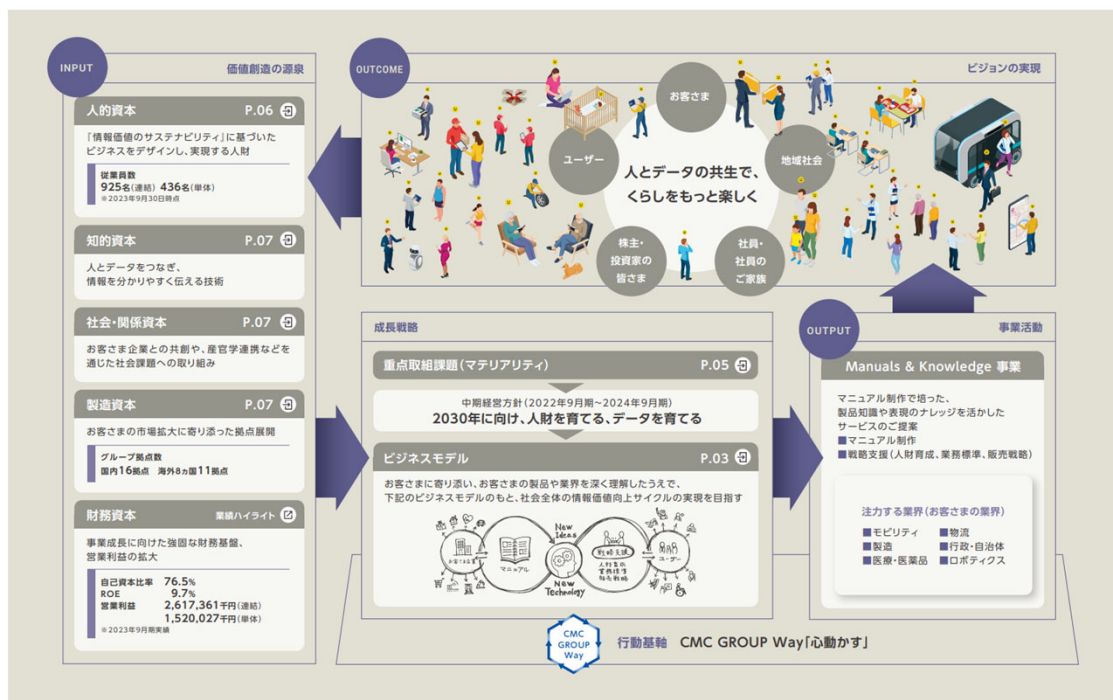
『情報価値のサステナビリティを目指して』の体現

私たちのパーパスを体現するのが、∞-Loop(インフィニティループ)と呼んでいるビジネスモデル戦略です。
情報を扱う企業として、お客さまの持つ製品や技術の情報を、どのようにユーザーへ伝えるか考え、どのような情報が求められているか分析しながら、より必要とされる情報の伝達を実現します。



心動かす価値創造プロセス

CMC GROUP | 情報価値のサステナビリティを目指して



経営指標

CMC GROUP | 情報価値のサステナビリティを目指して

連結損益計算書	単位	22年9月期通期	23年9月期通期	24年9月期通期	25年9月期 予想
売上高	百万円	17,917	18,451	19,523	22,000
売上総利益	百万円	6,860	6,858	7,275	8,700
営業利益	百万円	2,590	2,617	2,975	3,600
経常利益	百万円	2,964	2,873	3,182	3,700
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,003	1,762	2,078	2,400
売上総利益率	%	38.3	37.2	37.3	39.5
営業利益率	%	14.5	14.2	15.2	16.4
経常利益率	%	16.5	15.6	16.3	16.8
当期純利益率 ※1	%	11.2	9.6	10.6	10.9

※1 当期純利益率 = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 売上高

その他の指標	単位	22年9月期通期	23年9月期通期	24年9月期通期
BPS(1株当たり純資産額)	円	1,315.42	1,428.67	1,554.78
EPS(1株当たり当期純利益)	円	150.56	132.97	156.72
ROE	%	12.0	9.7	10.5
ROA	%	13.6	12.1	12.4
PER	倍	7.9	10.7	7.6
配当性向	%	19.9	28.6	28.1
従業員数	名	909	925	862

この資料は、株式会社シイエム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

株式会社シイエム・シイ 経営企画部 経営企画室 I R担当 052-322-3386

I Rサイト <https://www.cmc.co.jp/ir/>